

ケアサポート幸陽

令和5年度(2023年度)事業報告

1, 運営方針

住み慣れた地域で自立した生活を継続できるよう支援します。

2, 職員等配置

正規職員 7名	管理者(所長) 1名(日中一時支援事業・自立生活援助事業管理者兼務) サービス提供責任者 3名、支援員 1名、 事務員 2名兼務配置(障害者生活ホーム、さんさん幸陽)
正規職員以外 25名	登録型ヘルパー(直行直帰型) 24名、日中一時支援職員 1名

3, 利用者受入等実績

1) 利用者の障害・保険別人数

利用者状況 (3月31日現在)

知的障害	身体障害者	精神障害者	発達障害者	介護保険	一般(障害なし)	計(重複含)
101名	7名	1名	0名	8名	0名	115名 (117名)

※障害と介護保険の重複あり。(2名)

2) 利用者のサービス内容別内訳

居宅介護 (居宅での身体・ 家事援助)	同行援護 (視覚障害者の外 出支援)	重度訪問介護 (長時間の見守り 等の支援)	移動支援 (余暇等の外出支 援)	介護保険 (介護認定者の身 体・生活援助)	介護予防 (要支援者の身 体・生活援助)	自費 (法外の自由サー ビス)	全サービス 合計件数
34件	3件	0件	92件	7件	1件	26件	163件

※複数のサービスをご利用される方がいるため契約人数とサービス契約数は比例しない。

3) サービス提供実績

サービス内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計時間
居宅介護	身体介護	30.5	36.5	28.0	29.0	24.5	24.0	27.0	28.0	27.0	29.0	26.5	24.0	334.0
	家事援助	37.0	40.0	39.5	49.0	49.5	40.0	39.0	44.5	39.5	42.5	45.0	45.0	510.5
	通院介護等身体介護有	55.0	53.0	41.0	42.0	49.5	43.0	46.0	53.0	47.5	40.0	54.0	55.5	524.5
	通院介護等身体介護無	19.5	18.5	16.5	16.5	15.5	24.0	22.5	13.5	13.0	14.5	16.5	16.0	206.5
	重度訪問介護	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	同行援護	33.5	32.5	33.0	29.0	23.5	23.0	25.0	25.5	36.5	33.5	25.0	32.5	352.5
移動支援身体介護有		538.0	555.5	477.0	503.0	495.0	530.0	551.0	555.0	610.5	589.0	546.5	609.5	6560.0
移動支援身体介護無		183.5	170.5	156.0	180.5	180.0	185.0	183.5	165.0	178.0	188.0	190.5	168.0	2128.5
訪問介護		30.0	27.0	32.0	25.5	29.0	34.5	33.0	27.5	27.0	19.0	22.5	29.0	336.0
(介護予防・日常生活支援総合事業)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0	6.0	5.5	6.0	4.0	28.5
自費サービス		20.0	20.0	22.0	26.0	21.0	17.5	24.0	27.5	25.5	29.5	24.5	25.5	283.0
大田区日中一時支援事業(人)		21	16	19	14	15	16	14	13	12	17	22	26	延)205

4. 重点目標に対する取り組み状況

第5次経営改革プラン項目Ⅲ複合的課題に対する包括的支援の推進			回数・日付	人数	
1	(障害福祉) ① 希望する暮らしの実現	内容	① 認知症らしき症状等、利用者の加齢や変化に合わせて生活様式の工夫を凝らし、希望する生活の継続を図った。介護保険サービス事業者等が障害特性を理解できるよう補佐し、両者との良好な関係性に繋げている。	6月～ 9月	2名
	(介護保険) ② 生活能力、身体能力の維持と向上		①② 病状による*終末期を迎えた利用者(患者)へ希望する生活が続けられるよう、医療、行政、ご家族、通所施設との連携を密にし、穏やかな最期を迎えられるよう補佐した。通院介助、自費による生活支援等、臨機応変に対応した。	7月～ 9月	障害 1名 介護 1名
	(移動支援) ③ 安心できる外出や健康維持		③ 様々な感染症対策を講じながら社会参加の範囲を広げ、心身の気分転換ができる外出を提供している。通学、通所支援は個別に応じて付添い方を工夫しており、単独で通う事を最終目標として付き添い支援を行なった。サービス終了は2名。	5月～	—
第5次経営改革プラン項目Ⅱ地域に根ざした公益的取り組みの推進 Ⅳ福祉人材の確保・育成・定着			回数・日付	人数	
2	① サービス提供責任者のスキル向上	内容	① 介護技術に関する研修、学習を実行。 *登録型ヘルパーの雇用から単独業務(成長)まで寄り添い、観察力、指導力を身につけている。	8月～ 9月	3名
	② 登録型ヘルパーの長期雇用		② 数回の面談の実施、無理の無い仕事量の提供、資格取得の奨励を行い、労働時間増の相談や、研修受講の申込み等を支援した。2名が週労働20時間以上を目指している。他、1名が*同行援護の資格を取得した。	9月～	2名
	③ 研修事業の活用		③ 移動支援従業者養成研修事業の講師役職員を法人内から選出。まごめ園職員1名が講師役として担当。新井宿福祉園職員1名が新たに補佐役として関わり、職員の知識向上の機会とした。	2/25 7月 9月	1名 1名 1名
第5次経営改革プラン項目Ⅰ面的支援体制整備の推進			回数・日付	人数	
3	① 日中活動の場の整備	内容	① 大森東福祉園にて実施している日中一時支援事業は運営日数増加の継続を検討。今後のプランニング検討のため障害福祉課との意見交換を実施。	7/11	—
	② 自立生活援助事業の継続		② 単独生活での課題を自力解決できるよう悩みを共有している。生活状況は安定しているが人間関係の悩みがあり、助言等を行なっている。また、グループホームへの入居を希望しており丁寧に意思	通年	1名

		確認を行なっている。		
--	--	------------	--	--

- * 「終末期」とは、治療効果が期待できず予測される死への対応が必要となった期間の事。
- * 「登録型ヘルパー」自宅から利用者宅への直行直帰を常態とした特殊な雇用形態での非常勤職員であり、毎月のシフト制による実働時間、実働日数は不定期の勤務。
- * 「同行援護」視力に障害のある方が利用できる障害福祉サービス。代読や代筆も含めた外出の付添いを提供する。

5. 人材確保・育成とサービスの質向上の取り組み・研修

	実施項目	具体的取組の内容	回数・日付	人数																																																
1	OJT・職場内研修	ヘルパーミーティング（学習会）の実施 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">4月</td> <td style="width: 60%;">腰痛予防・障害者（高齢者）虐待防止法</td> <td style="width: 10%;">4/25</td> <td style="width: 10%;">6名</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>知的障害者の高齢者支援</td> <td>5/25</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>これって虐待？日々を振り返ろう</td> <td>6/29</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>コミュニケーションのいろいろ</td> <td>7/27</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>感覚過敏の疑似体験（障害体験）</td> <td>8/31</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>震災天災時の連絡（伝言ダイヤルの練習）</td> <td>9/24</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>感染予防の基礎を復習（COVIT-19 対策）</td> <td>10/27</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>個人情報保護</td> <td>11/27</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>情報交換（こんな時どうしてるの？）</td> <td>12/25</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>事故防止（事故事例・ヒヤリハット）</td> <td>1/30</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>支援や援助の工夫（ミスを減らすために）</td> <td>2/26</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>1年のまとめと連絡事項（次年度体制他）</td> <td>3/29</td> <td>2名</td> </tr> </table> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同行研修により支援技術の確認を実施。 ・ジュニアマネージャー対象研修 ・看取りケア後のデスクカンファレンスの実施。 ・事業所会議にて、事例検討と助言、ヒヤリハットや介護事故の振り返り、他社の虐待やサービス内容から法令遵守の再確認等を行なっている。 ・虐待防止・権利擁護（事業所虐待防止・人権委員会） 	4月	腰痛予防・障害者（高齢者）虐待防止法	4/25	6名	5月	知的障害者の高齢者支援	5/25	8名	6月	これって虐待？日々を振り返ろう	6/29	5名	7月	コミュニケーションのいろいろ	7/27	5名	8月	感覚過敏の疑似体験（障害体験）	8/31	5名	9月	震災天災時の連絡（伝言ダイヤルの練習）	9/24	5名	10月	感染予防の基礎を復習（COVIT-19 対策）	10/27	2名	11月	個人情報保護	11/27	6名	12月	情報交換（こんな時どうしてるの？）	12/25	2名	1月	事故防止（事故事例・ヒヤリハット）	1/30	2名	2月	支援や援助の工夫（ミスを減らすために）	2/26	4名	3月	1年のまとめと連絡事項（次年度体制他）	3/29	2名	採用時 5/1 8/16 8/31 毎月 毎月	3名 1名 1名 3名 — —
4月	腰痛予防・障害者（高齢者）虐待防止法	4/25	6名																																																	
5月	知的障害者の高齢者支援	5/25	8名																																																	
6月	これって虐待？日々を振り返ろう	6/29	5名																																																	
7月	コミュニケーションのいろいろ	7/27	5名																																																	
8月	感覚過敏の疑似体験（障害体験）	8/31	5名																																																	
9月	震災天災時の連絡（伝言ダイヤルの練習）	9/24	5名																																																	
10月	感染予防の基礎を復習（COVIT-19 対策）	10/27	2名																																																	
11月	個人情報保護	11/27	6名																																																	
12月	情報交換（こんな時どうしてるの？）	12/25	2名																																																	
1月	事故防止（事故事例・ヒヤリハット）	1/30	2名																																																	
2月	支援や援助の工夫（ミスを減らすために）	2/26	4名																																																	
3月	1年のまとめと連絡事項（次年度体制他）	3/29	2名																																																	
2	外部研修	① 障がい特性 2講座 ② リスクマネジメント 1講座 ③ 利用者支援・技法 1講座 ④ 福祉サービス・制度 1講座 ⑤ 経営・運営 1講座 ⑥ その他 0講座	2回 1回 1回 1回 1回 0回	2名 1名 1名 1名 1名 0名																																																

6. その他特記事項

- サービス実施記録の電子記録化のためソフトのオプション申込を3月に実施。（¥55,000）
- 大田区内移動支援事業所ネットワークに職員が運営メンバーとして毎月参加している。